

はじめの一枚

事業の出発点と、そこから向かう角度を、自分の言葉と自分の数字で決める。

一

誰の、何を

主語と述語のある一文で書く

二

どこまで

数量・期限・規模。その数字は、自分の実測か

三

何をしないか

捨てる機会を、名指しできるくらい具体的に

四

揺らがない根拠

市場が消えても続ける理由。主語は「自分」になっているか

五

何が起きたら、間違いとわかるか

期限と数字を、ひと組で